



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 ホウライ株式会社

コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷澤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員財務企画部長 (氏名) 泰地 伸宏

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成28年5月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|---|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年9月期第2四半期 | 2,529 | 7.8 | 110 | — | 207 | 95.4 | 147 | 99.1 |
| 27年9月期第2四半期 | 2,345 | 3.9 | △3 | — | 106 | △65.0 | 73 | △65.5 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期第2四半期 | 10.54 | — |
| 27年9月期第2四半期 | 5.29 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年9月期第2四半期 | 18,965 | 6,796 | 35.8 |
| 27年9月期 | 18,983 | 6,718 | 35.4 |

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 6,796百万円 27年9月期 6,718百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 28年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,500 | 4.6 | 220 | △13.7 | 420 | △18.9 | 300 | △29.0 | 21.47 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年9月期2Q | 14,040,000 株 | 27年9月期 | 14,040,000 株 |
| 28年9月期2Q | 66,661 株 | 27年9月期 | 66,361 株 |
| 28年9月期2Q | 13,973,391 株 | 27年9月期2Q | 13,974,856 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益、雇用情勢は改善傾向が継続し、個人消費も総じて底堅く推移する等、一部に弱さもみられるものの景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとする新興国や資源国の景気減速や、アメリカの金融政策の動向等から、先行きの景気動向、消費動向に不透明感が強まっている状況となっています。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策を積極的に推進し、業容の拡大を目指した結果、営業収益、営業総利益ともに、全事業が前年同期を上回りました。一般管理費は概ね前年同期並みであったことから、営業利益は前年同期を上回りました。

当事業年度の経営成績は、営業収益が2,529百万円(前年同期比183百万円増)、営業総利益は399百万円(前年同期比110百万円増)、一般管理費は289百万円(前年同期比2百万円減)となり、営業利益は110百万円(前年同期比113百万円増)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益99百万円(前年同期比21百万円減)を計上したことを主因に、経常利益は207百万円(前年同期比101百万円増)となり税引後の四半期純利益は147百万円(前年同期比73百万円増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①保険事業

お客様それぞれのニーズに応じたタイムリーな商品提案を行うとともに、継続的なリスクコンサルティング営業に努めました。損害保険分野は保険会社と連携した更改契約の高付加価値化を主因に、生命保険分野は経営者保険契約の増加を主因に、両分野とも前年同期を上回り、営業収益は559百万円(前年同期比60百万円増)となりました。営業原価は、業務推進体制強化のための人件費の増加を主因に前年同期を上回りましたが、営業総利益は増収寄与により211百万円(前年同期比38百万円増)となりました。

②不動産事業

オフィスビルは高水準の入居率に変動なく、ビル賃貸収入は前年同期とほぼ同水準でしたが、平成27年10月からの千本松地区太陽光発電用地の新規賃貸収入の寄与により、営業収益は、842百万円(前年同期比18百万円増)となりました。営業原価は、池袋室町ビルの立体駐車場改修工事に伴う修繕費等の経費増加を主因に前年同期を上回りましたが、営業総利益は増収寄与により337百万円(前年同期比6百万円増)となりました。

③乳業事業

乳製品は、ヨーグルトや直営ショップでのソフトクリーム、ミルクコーヒー等の売上が前年を上回り、生乳、子牛の売上も増加したことから、営業収益は414百万円(前年同期比38百万円増)となりました。原材料の値上がり等による製造原価、増収に伴う商品原価、営業戦力強化のための人件費が、それぞれ増加する一方で、配送の効率化による運賃削減等経費の圧縮に努め、営業原価の増加を極力抑制し、営業総損失は71百万円(前年同期比31百万円の改善)となりました。

④観光事業

各種企画・イベントの開催や、旅行会社各社への提案営業強化に加え、地区観光協会・観光施設と連携した各種施策を展開し集客増加に努めました。レストラン等のメニュー研究、売店の品揃え拡充やレイアウト変更、アトラクション施設の見直し等を行い、食堂、売店、施設全部門で来客数、売上ともに前年を上回り、営業収益は、420百万円(前年同期比20百万円増)となりました。一方、原価率の低減にも継続的に取り組み、営業原価は増収に伴う売上原価や人件費の増加により前年同期を上回りましたが、営業総利益は5百万円(前年同期比3百万円増)となりました。

⑤ゴルフ事業

「牧場祭」「肉の日」等の多彩な平日コンペの開催や、「春のゴルフコンペキャンペーン」と銘打った大口コンペ誘致の営業を展開しました。週末の天候にも恵まれ、来場者数は、ホウライ・西那須野両カントリークラブを合わせて前年同期を大きく(20.8%増)上回りました。また、季節感溢れる食事メニューの採用や、売店の品揃え、特にお土産品に工夫を凝らす等、総合的な満足度向上を通じた顧客単価の引上げを目指しました。この結果、営業収益はプレー収入の増収を主因に292百万円(前年同期比46百万円増)となりました。前年度のゴルフカート更新投資等により減価償却負担は増加しましたが、コスト管理の強化により、営業原価率は前年同期を下回り、営業総損失は83百万円(前年同期比30百万円の改善)となりました。

なお、平成28年4月より千本松地区事業の経営体制の見直しを行い、乳業事業セグメントと観光事業セグメントを統合し千本松牧場セグメントといたしました。

平成28年9月期第3四半期より、セグメント別の業績説明は、保険事業、不動産事業、千本松牧場、ゴルフ事業の4セグメントとなります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、18,965百万円となり、前事業年度末と比較して18百万円減少しました。

流動資産は、未収入金の増加を主因に前事業年度末比128百万円増加し、4,311百万円となりました。固定資産は、保険積立金の減少を主因に前事業年度末比146百万円減少し、14,653百万円になりました。

負債は、長期預り保証金等の減少を主因に、前事業年度末に比較して95百万円減少し、12,169百万円になりました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末に比較して77百万円増加し、6,796百万円になりました。自己資本比率は35.8%と、前事業年度末に比較して0.4ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比較して79百万円減少し、2,297百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税引前四半期純利益198百万円、減価償却費の計上173百万円に対し、預り敷金及び保証金の減少171百万円等により、193百万円の収入(前年同期は7百万円の支出)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出85百万円を主因に73百万円の支出(前年同期は137百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払い69百万円、ゴルフ会員権買取67百万円等により199百万円の支出(前年同期は202百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成27年10月30日の「平成27年9月期決算短信(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,472,219 | 3,566,471 |
| 受取手形及び売掛金 | 381,002 | 340,082 |
| 商品及び製品 | 132,013 | 107,773 |
| 仕掛品 | 3,201 | 22,704 |
| 原材料及び貯蔵品 | 66,559 | 58,243 |
| 未収還付法人税等 | 31,700 | — |
| その他 | 96,862 | 217,256 |
| 貸倒引当金 | △217 | △907 |
| 流動資産合計 | 4,183,342 | 4,311,625 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 3,254,686 | 3,185,867 |
| 土地 | 7,056,555 | 7,056,555 |
| その他(純額) | 2,431,984 | 2,471,550 |
| 有形固定資産合計 | 12,743,226 | 12,713,973 |
| 無形固定資産 | 44,929 | 62,370 |
| 投資その他の資産 | | |
| 保険積立金 | 1,109,170 | 983,192 |
| その他 | 926,200 | 917,393 |
| 貸倒引当金 | △23,000 | △23,000 |
| 投資その他の資産合計 | 2,012,370 | 1,877,586 |
| 固定資産合計 | 14,800,526 | 14,653,930 |
| 資産合計 | 18,983,868 | 18,965,555 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 83,173 | 75,453 |
| 1年内償還予定の社債 | 98,000 | 98,000 |
| 未払法人税等 | 26,260 | 62,818 |
| 引当金 | 35,406 | 42,985 |
| その他 | 1,234,176 | 1,263,749 |
| 流動負債合計 | 1,477,016 | 1,543,007 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,259,000 | 1,210,000 |
| 長期預り保証金 | 9,203,930 | 9,045,627 |
| 引当金 | 109,111 | 121,050 |
| 資産除去債務 | 40,583 | 40,960 |
| その他 | 175,279 | 208,671 |
| 固定負債合計 | 10,787,904 | 10,626,309 |
| 負債合計 | 12,264,920 | 12,169,316 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,340,550 | 4,340,550 |
| 資本剰余金 | 527,052 | 527,052 |
| 利益剰余金 | 1,810,742 | 1,888,174 |
| 自己株式 | △16,293 | △16,359 |
| 株主資本合計 | 6,662,051 | 6,739,418 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 56,896 | 56,820 |
| 評価・換算差額等合計 | 56,896 | 56,820 |
| 純資産合計 | 6,718,948 | 6,796,238 |
| 負債純資産合計 | 18,983,868 | 18,965,555 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日) |
|---------------|--|--|
| 営業収益 | 2,345,724 | 2,529,691 |
| 営業原価 | 2,057,374 | 2,130,468 |
| 営業総利益 | 288,350 | 399,223 |
| 一般管理費 | 291,540 | 289,084 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △3,189 | 110,139 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 379 | 437 |
| 受取配当金 | 1,039 | 1,304 |
| 会員権消却益 | 120,975 | 99,975 |
| その他 | 16,930 | 14,717 |
| 営業外収益合計 | 139,325 | 116,434 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,738 | 5,488 |
| 支払保証料 | 9,412 | 8,828 |
| 社告掲載費用 | 11,568 | — |
| その他 | 3,337 | 5,010 |
| 営業外費用合計 | 30,056 | 19,328 |
| 経常利益 | 106,079 | 207,245 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 4,464 | 8,561 |
| 特別損失合計 | 4,464 | 8,561 |
| 税引前四半期純利益 | 101,614 | 198,683 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,864 | 50,466 |
| 法人税等調整額 | 12,784 | 916 |
| 法人税等合計 | 27,648 | 51,382 |
| 四半期純利益 | 73,966 | 147,301 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 101,614 | 198,683 |
| 減価償却費 | 168,881 | 173,457 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △35 | 689 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 5,613 | 12,659 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 2,239 | 1,360 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 10,910 | △720 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 6,107 | 6,219 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,419 | △1,741 |
| 会員権消却益 | △120,975 | △99,975 |
| 支払利息 | 5,738 | 5,488 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 4,464 | 8,561 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 24,326 | 40,919 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △14,759 | 13,052 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △17,304 | △7,720 |
| 預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少) | △14,444 | △171,610 |
| その他 | 23,772 | 7,072 |
| 小計 | 184,731 | 186,398 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,224 | 1,480 |
| 利息の支払額 | △5,747 | △5,504 |
| 法人税等の支払額 | △188,095 | △20,742 |
| 法人税等の還付額 | — | 31,700 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △7,885 | 193,333 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △500,000 | △500,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 500,000 | 500,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △143,497 | △85,621 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 15,060 | 14,210 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △150 | △5,789 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,982 | △3,010 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 200 |
| 保険積立金の積立による支出 | △1,536 | — |
| 保険積立金の払戻による収入 | — | 6,851 |
| その他 | △4,362 | △2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △137,468 | △73,163 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 社債の償還による支出 | △49,000 | △49,000 |
| 入会預り保証金の返還による支出 | △76,025 | △67,025 |
| リース債務の返済による支出 | △7,941 | △14,201 |
| 配当金の支払額 | △69,275 | △69,348 |
| その他 | △148 | △66 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △202,390 | △199,640 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △347,745 | △79,471 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,202,841 | 2,377,033 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,855,096 | 2,297,562 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。